

CASBEE[®]さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

■ 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)はるばてお大宮新築工事	階数	地上2F
建設地	さいたま市大宮区上小町1180ほか	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	75人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2021年12月10日
敷地面積	2,852 m ²	作成者	神田設計 松田
建築面積	1,575 m ²	確認日	2021年12月10日
延床面積	2,958 m ²	確認者	神田設計 神田



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	79%
③ 上記+②以外のオンサイト手法	79%
④ 上記+	79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 4
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

音環境	2.3
温熱環境	2.0
光・視環境	2.8
空気質環境	4.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

機能性	2.9
耐用性	2.8
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システ	4.2
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

水資源	2.2
非再生材料の使用削減	2.8
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

地球温暖化への配慮	3.8
地域環境への配慮	2.6
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 当該敷地の持つ固有性を最大限に活かしながら、環境にやさしく、かつ近隣への影響(採光・通風・眺望等)も最大限に配慮した計画とした。		
Q1 室内環境 入居者が一日の大半を過ごす居室1~16は全て、眺望良好な2階に設けた。	Q2 サービス性能 搬入・搬出等のサービス動線は全て北側道路から行えるような計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の環境(西側緑地、東側集合住宅 ※いずれも当建築主の所有)と連続した一体空間になるよう努めた。
LR1 エネルギー 開口部は最小限の数として、熱負荷の低減に務めた。	LR2 資源・マテリアル 解体時の材料分別が容易に行えるよう、仕上材の下地はLGS製とした。	LR3 敷地外環境 近隣への影響を考慮し、建物は低層(2階建て)とし、さらに勾配屋根(寄棟)とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

CASBEEさいたま2016年版
(仮称)はるばてお大宮新築工事

■使用評価マニュアル CASBEEさいたま2016年版
 ■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体		
		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質						2.8		
Q1 室内環境			0.40		-	2.8		
1 音環境		2.2	0.15	2.6	1.00	2.3		
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		1.0	0.40	3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		2.0	0.35	2.0	1.00	2.0		
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30			
3 光・視環境		2.7	0.25	3.1	1.00	2.8		
3.1 昼光利用		4.2	0.30	3.6	0.30			
1 昼光率	共用部分:8.0%/宿泊部分:1.11%	5.0	0.60	4.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		1.0	0.30	3.0	0.30			
1 昼光制御		1.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		4.4	0.25	4.2	1.00	4.3		
4.1 発生源対策		5.0	0.50	5.0	0.63			
1 化学汚染物質	☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用している	5.0	1.00	5.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御	全館禁煙である	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.9		
1 機能性		2.5	0.40	4.0	1.00	2.9		
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性	多床室(4人部屋):46.4㎡/4床=11.6㎡/床	3.0	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.5	0.40			
1 広さ感・景観	入居者の居室1~16は天井高2.5m	3.0	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	外壁仕上:高耐候性塗料/屋根軒の出900/風除室内扉間距離確	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	-	-	2.8		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
2.4 信頼性		2.2	0.20	-	-			
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-			
3 電気設備		3.0	0.20	-	-			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-			
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	-			

3 対応性・更新性			3.1	0.30	2.7	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	2.4	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	1階:0.227	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	ピロティ、1階ホール(地域交流スペース)、テラス、メッシュフェンス等	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1	建物外皮の熱負荷抑制	[BP][BPIm]= 0.75	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BE][BEIm]= 0.74	4.2	0.50	-	-	4.2
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1	材料使用量の削減	鉄骨基準高度F=400以上	4.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体(鉄骨)+軽鉄+仕上材	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		換算スコア3.8	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪場・駐車場確保(外来及び業務用)/車寄せ	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	